

左耳にイヤホン、左手でスマホを操作し、右手には飲み物。信じられない限りですが、みなさんもこれに近いことをしていませんか？

朝、自転車で登校するみなさんを見ていると、イヤホンしている人いますよね。きちんと周囲に気をつけて運転していますか？手に何か持っていたりしませんか？

自分は大丈夫と思っていませんか？その油断が事故につながるのです。

記事は次のように続きます。自転車と歩行者の衝突事故は増えているのです。



「ながらスマホ」の自転車事故は各地で増えている。警察庁によると、スマホや従来型携帯電話（ガラケー）を使いながら歩行者と衝突した事故は昨年だけで45件確認された。前年から19件増え、統計を取り始めた2007年以降で最悪だった。

原因の内訳は、「画面の注視」が29件と最も多く、10年前と比べて約6倍増。一方で、「通話」は4件にとどまる。SNSやゲームを楽しむ機会が増え、画面に集中するあまり、事故を起こすケースが増えている。担当者は「重い罪に問われたり、賠償責任を問われたりするのを知ってもらおう啓発を進めたい」と言う。

8月24日にも、6月に茨城県で19歳の男子大学生がマウンテンバイクで歩行者の男性をはねて死亡させる事故があり、8月2日に重過失傷害致死で書類送検されたというニュースが伝えられました。大学生は夜にもかかわらず無灯火で、スマホを見ながら運転していたということです。

誰も事故を起こそうと思って事故を起こしているわけではありません。大丈夫だと思っているのです。みなさんも同じです。

元女子大生は、大学を退学しました。ネット上では名前や顔を特定して非難するものもあります。重過失致死罪は法定刑では「5年以下の懲役・禁固、または100万円以下の罰金」ですが、賠償請求があります。元女子大学生の件は、自転車側に過失があるので100%自転車が悪いことになります。過去には、男子小学生が60代の女性にぶつかり意識が戻らなくなった事故で9,500万円余り、男子高校生が20代の男性会社員にぶつかり重大な障害が残った事故で9,200万円余りという事例があります。つまり、**ちょっとした油断で人生が大きく狂ってしまうのです。**

もちろん、自転車は被害者にもなります。8月28日午前4時20分頃、茨城県の国道294号線で道路の左側を自転車で走っていた大学生2名が後ろから来た大型トラックに次々とはねられました。1人死亡、もう1人は骨折の重傷です。本校でも自動車との接触事故が起こっています。幸い、命に関わる事故にはなっていませんが、自分もいつ、どこで事故にあうかわかりません。**危険箇所を予測し、注意して自転車に乗りましょう！**注意しても注意しすぎることはないのです！

通学路で危険な箇所はどこ？交通安全ハザードマップを作ってみよう!!



★のある場所は登下校指導で先生のいる場所です。

